

くらしと心理

講師名	菅原 正和	実務経験等	大学における心理学の教授としての経験を活かし、社会でより良い人間関係を築くため、人々のくらし(家庭、学校、職場)の中で生じる、様々な人間関係の心理学的メカニズムについての講義を行う。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・教養科目	全学科	選択(必修)A群	1	後期	15	1
使用教科書・副教材	プリント配布、参考書はテーマごとに紹介					
授業の目的	人々のくらし(家庭、学校、職場)の中で生じる、様々な人間関係の心理学的メカニズムを学び、より良い人間関係を築くことを目的とする。					
授業の到達目標	心理学的への理解を深め、より良い人間関係を築く手法を身につける。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
1月8日	1. 家庭における親子・兄弟関係の心理学	①人間の絆の形成はいつか。 ②児童虐待の心理学的メカニズムを理解する。 ③信頼と不信の心理学とは。 ④アタッチメントとIWMについて学ぶ。	4	講義	
1月22日	2. 学校における友人関係の心理学	①シャイネスについて学ぶ。 ②いじめの心理学的構造を理解する。 ③不登校問題を考える。 ④社会的スキルの発達。	4		
1月29日	3. 青年期の愛情と性差の心理学	①脳と心の関係。 ②友情とアルトルイズム(利他主義)を学ぶ。 ③性差の心理。	4		
2月5日	4. 心の病の理解	①障害への理解を深める。 ②MMPIの方法を学ぶ。	4		
		合計	16	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

試験、レポート提出と内容、出席状況により評価する。
評価割合: 筆記試験及びレポート80%、平常点20%

履修に当たっての留意点等

板書したこと以外にも、よくノートを取る。ノートをよく見て復習し、不明な点は質問すること。講義は受動型ではなく、参加型とする。